

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス メーブルリーフ

公表日 令和8年3月31日

19名 (18家庭) 11家庭 回収
 利用児童数 令和8年3月31日現在 回収数 7家庭 未回収

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2			・時々、子どもが活動している様子を見学したい。	・子どもたちの活動の様子を大切にしながら、保護者にも参加していただけるイベントを企画し、保護者との交流や理解を深めていきたい。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	2		・看護師さんがおられたらいいと思いました。 ・職員の配置が少ないように思う。 ・不足している。	・現在、医療的ケア児の利用がないため、看護師の配置は予定していない。 ・職員配置については、基準上必要な職員に加え加配職員も配置している状況であるが、経験年数の浅い職員や女性職員が多いこともあり、支援体制に影響する面があると考えられる。経験年数の浅い職員については、研修や日々の支援を通して学びを深め、支援の質の向上に努めていきたい。また、引き続き職員募集を行い、体制の充実を図っていく予定である。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2			利用しているお子さんが多いと思いますが、自分でも気づかなかつた自分の子供の得意・苦手が計画書に記入されており、理解していただき、支援を受けさせていただいていると思います。	・個別支援計画については、令和5年度に大きな変更があったことから内容の見直しを行っている。児童発達支援管理責任者にはより専門性が求められるが、その基盤となるアセスメントが重要であると考えている。今後も保護者の意見を踏まえながら、子ども一人ひとりの特性や状況に応じた支援を引き続き模索し、満足していただける支援計画の作成及び支援の実施に努めていく。また、得意なことを伸ばしながら、苦手なことにも段階的に取り組めるよう支援していく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9			2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3		4	「〇〇のお友達と遊んだよ」と教えてくれることができました。	・他の放課後等デイサービスと一緒に活動を行う機会を設けた。次年度は地域のこども食堂との連携を図り、一緒に活動を行ってきたいと考えている。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	1	1		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	1	2	(家以外での) 子供の様子を知ることができるので情報提供の場が欲しい。	・今年度は試験的に「新年会」と題し、保護者交流会を実施した。保護者同士が交流する機会となるとともに、メールの活動を知っていただく機会にもなったと感じている。今回の実施に限らず、次年度は保護者との茶話会などの開催も視野に入れ、保護者同士の交流や事業所への理解を深める機会を設けていきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11					
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	8	1	1	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				「今日はメールさんに行く？」と楽しみにしています。	・利用児が楽しみにして来所してくれることは大変嬉しいことであり、支援を行う上で最も基本であり、大切にしていかなければならない点である。引き続き初心の気持ちを忘れず、「子どもたちにとって楽しい場」をつくっていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				家庭で出来ないことや場所に連れて行ってきてありがたく、今後の活動も楽しみにしている。	・開所から21年の歴史の中で築き上げてきた思いを大切にしながら、ご家庭では経験する機会が少ない活動や四季に応じた体験を数多く積めるよう努めていく。また、学齢期における様々な経験を通して、将来大人になった際に余暇の幅を広げられるような力を育んでいきたいと考えている。